

送辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、春がすぐ近くまで訪れていることを感じる今日この頃、武蔵大学を卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

今から約四年前、新型コロナウイルス感染症によって世界中がパニックに陥る中、皆様はこの武蔵大学に入学され、その影響を最も直に受けた代かと思います。思い描いていた大学生活とは程遠く、何を行うにも制限が課される困難な中、本日に至るまで数えきれない経験、思い出を作られたことでしょう。自由を奪われ思うように行かず、入学式を上げる事は叶わない、その様な状況でも各々が工夫し、コロナ禍を乗り越えた皆様だからこそ、得たものも多いかと思います。

そのような先輩方の存在は、我々在学生に多大なる勇気をもたらしてくださいました。新型コロナウイルスが依然猛威を振るっていた中、我々は今後自身が経験する大学生活に、大きな不安を抱いて入学致しました。その様な時に、すでに様々な困難を乗り越えた先輩方の存在は、本当に大きな支えとなりました。不安だった講義も、部活動も、課外活動も、先輩方がご自身の経験に基づき、導いてくださったお陰で、今の我々があるのだと思います。また、先輩方の困難に臆さない姿は、我々に自ら挑戦することの大切さを学ばせてくださいました。

今、このように先輩方を見ていると、感謝と喜びの気持ちを抱くと同時に、寂しさを感じます。困難を乗り越えた皆様は今、各々が自身の経験を活かし、新しい世界へ飛び立とうとされているからです。苦しい時は、どうか、この武蔵大学で学んだことや、共に過ごした仲間との思い出を糧にしていただけると幸いです。その道が良きものとなるよう、在学生一同、心より応援しております。

最後になりましたが、本日は無事皆様の卒業式に参列することができ、こうして先輩方を見送ることが叶った事、誠に嬉しく思います。皆様のご健康とさらなるご活躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。改めまして、本日はご卒業、誠にありがとうございます。

令和六年三月二十二日

在学生代表 李 馨竹